

今年度重点目標	職員の 自己評価	成果と課題・改善策
1 学習活動を柱とした学校生活における諸活動に意欲的に取り組み、自己の進路実現に向けて努力する生徒を育てる 2 基本的な生活習慣が身につく、挨拶や清掃に積極的に取り組める生徒を育てるとともに、いじめや体罰のない安心かつ安全な学校づくりに務める 3 ICT活用や教育相談の研修を通じて、喫緊の教育課題に取り組む	B	1 コロナ禍においても学習活動や生徒会活動に、前向きに取り組む姿勢が見られた。「探究的な学び」を活用しながら、生徒が自ら進路を開拓できるように指導を継続したい。 2 多くの生徒が基本的な生活習慣を身につけ、規則正しい生活を送っている。また、いじめが発生しない環境づくりのために、職員間の連携を密にしていきたい。 3 発展途上であるが、タブレット端末等を活用した授業を実践できた。今後も生徒と学び続ける中で最適解を模索していく。また、先進校の視察等の研修を通じて、さらに充実させたい。

1. 学校自己評価表に対する評価

1:適正に評価されている 3名      2:概ねされている 4名      3:やや不十分 0      4:不十分 0

2. 全体を通しての意見・提言

- ・全体的に、学校活動や生徒会活動に大多数の生徒が前向きに取り組んでいると感じた。
- ・10月学校公開週間の際、授業を参観。大多数の生徒が集中して熱心に講義する先生の話真剣なまなざしで聞いている姿に感銘を受けた。ただ一部の生徒に、先生の話の聞いているのか疑わしい姿が散見されたことが残念だった。
- ・学校で会う生徒たちは、とても気持ちのいい挨拶をしてくれた。高校生らしい明るく、元気のよい姿から、充実した高校生活を送っていると感じられた。
- ・100周年を迎えるにあたり、今後も多くの子供たちが豊科高校を目標としてくれるよう期待したい。
- ・コロナ禍での学校運営に苦慮されながらも、生徒のために様々な工夫がされている様子が伝わってきた。
- ・ICTの環境改善が一気に進み、その積極的活用にも取り組んでいる様子もうかがえた。ICTを活用した授業改善への取り組みには、課題も多く、まだまだこれからと思われる。先生方の積極的な実践に期待したい。
- ・大きな生徒指導事案もなく、諸活動に前向きに取り組む姿がみられること、校長先生はじめ先生方の努力の成果が現れていることに、地域の一人として感謝したい。
- ・授業評価で7割から8割の生徒に支持されていることは評価に値する。
- ・10月学校公開週間では、探究的な課題による4人グループでの授業を拝見。従来の高校特に、1年生で、このような授業が実践されていた。このことが、1年生の授業評価の高さの一因ではないか。
- ・「自ら進路を開拓」と「探究的な学び」を関連付けて学校運営していこうとする方針には賛意を示したい。
- ・評価のまとめ方について、数値化できるものについては、そうすべきである。
- ・中学3年生向けの進路講話に、卒業生になる3年生から話を聞く機会をいただいた。スマホのメモを見ながら活き活きと語るその姿に格好良さに3年後の自分を重ね合わせた生徒も多かったのではないかと感じた。こうした機会を積み重ねることで、地域の学校としての基盤をより確かなものにしてほしい。
- ・中学校では令和5年度から、新たに「地域部活動」が始まり、休日の部活動は地域指導者に委ねられることとなっている。部活動離れを防ぐ意味でも、中高の連続性ある活動として「地域部活動」をとらえ、高校生にも参加することを通じて、高校の部活動活性化に繋げてほしい。
- ・令和4年度入試では、前年度から比べ、志願者数が増加した。校長先生はじめ先生方のご努力に感謝したい。